

(大正五年四月六日第三種郵便物認可)昭和十年九月廿五日印刷納本(毎月一回一日發行)

# 哲 學 研 究

第 二 十 二 卷 第 十 册

第 二 百 三 十 五 號

昭 和 十 年 十 月 一 日 發 行

種 的 論 理 と 世 界 圖 式

—— 絶 對 媒 介 の 哲 學 へ の 途 ——

..... 文 學 博 士 田 邊 元

印 度 に 於 け る 蓮 華 喻 研 究 の 方 法

—— 特 に 法 華 經 を 顧 慮 し て ——

..... 文 學 博 士 本 田 義 英

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內  
京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	天野貞祐
文學士	岩井勝二郎
文學博士	植田壽藏
文學士	白井二尙
文學博士	小島祐馬
文學博士	木村素衛
文學博士	九鬼周造
文學博士	田邊元
文學士	中井正一
文學士	西谷啓治
文學博士	野上俊夫
文學博士	羽溪了諦
文學博士	波多野精一
文學士	服部英次郎
文學博士	本田義英
文學博士	山内得立

# 京都哲學會公開講演會

來る十一月二十四日(日曜)午後一時半より京都帝國大學法學部第四教室に於て  
左記の如く公開講演會を開催致します

## 祖國の問題

京都帝國大學助教授文學士 臼井一二尙君

## 知覺形而上學の問題

京都帝國大學講師文學士 土井虎賀壽君

京都帝國大學文學部内

京都哲學會

## 前 號 目 次

古代及び中世の西洋美術に對する東方の影響(承前)……………	高次の方向量の論理……………	佛教涅槃の特異性……………
……小林太市郎	……文學士 佐藤省三	……文學博士 羽了諦

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候

一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版印刷株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候

一、會費ハ振替口座大阪〇六六三番 内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候

一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版印刷株式會社へ御申込下され度候

◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候

◎ 振替貯金にて御送金の際は(振替大阪三九三一番東京三九三一番)内外出版印刷株式會社宛に願上候

◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候

◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊数	定 價	郵 税
一冊	金四拾錢	金壹錢
六冊(前金)	金貳圓四拾錢	不申
十二冊(前金)	金四圓八拾錢	不申

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和十年九月廿五日印刷納本  
昭和十年十月一日發 行 第二百三十五號第十册

京都帝國大學文學部内

不許複製  
禁轉載

編輯者 京都哲學會  
右代表者 服部英次郎  
發行者 須磨勘兵衛  
印刷者 須磨勘兵衛  
印刷所 須磨勘兵衛

内外出版印刷株式會社  
京都市西洞院七條南入  
京都市北小路通新町西入

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版印刷株式會社

振替口座 大阪三二九五五番  
東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入  
販賣所 京都市日本橋區本銀町三ノ十四  
内外出版印刷株式會社

賣捌所 (大阪) 寶文館 北隆館 寶文館 東文館 東海堂  
(神戸) 寶文館 上田屋 盛文館 參文社  
(京都) 共盛社 川瀨書店 大盛社

栗田賢三 吉野源三郎 古在由重譯

# フオールド 西洋哲學史 第二卷

## 第二卷 新刊

四六判五四四頁  
クロス装函入  
定價三・〇〇送・二一

## 第一卷

四六判五〇二頁  
クロス装函入  
定價二・八〇送・二一

## 第三卷

四六判四四四頁  
クロス装函入  
定價二・七〇送・二一

フオールドレンデルは「學生並に眞面目に哲學を研究しようとする教養人」を  
目當にしてこの哲學史全三巻をものしたといふ。嚮に譯出せる第一巻並に第  
三巻は幸に好評を博して、原著者のこのよき意圖を生かすことが出來た。茲  
に第二巻（近世の哲學）成つて愈々翻譯の完結を見た。しかもこの第二巻こ  
そは、本哲學史中、原著者の面目の最も躍如としてゐる部分で、近世に於け  
る數學的自然科學の確立、社會科學の誕生及びその哲學的基礎を跡づけて、  
カントに及んでゐる。カントに關する敘述は全體の四分の一に及び、好固の  
カント入門でもあり得る。

振替 東 京 二 六 四 〇  
岩波書店

東京 神橋 一ツ

（大正五年四月六日）昭和十年九月廿五日印刷納本（毎月一回）  
（第三種郵便物認可）昭和十年十月一日發行（一日發行）

哲學研究 第二百三十五號 定價金四拾錢

郵税金壹錢